

# 地域おこし協力隊 通信 VOL.72

お問い合わせ先

(観光振興) 企画政策課 企画政策グループ  
電話 5-1114 告知端末機 5-8814

(集落支援) 地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」  
電話・告知端末機 9-7367

## 観光振興担当 貞廣拓哉隊員



皆さんこんにちは、地域おこし協力隊の貞廣です。

少し前の話になりますが、10月16日に幌延町教育委員会社会教育グループ主催のふるさと自然体験チャレンジ教室「秋の渡り鳥観察会」が行なわれました。私はスタッフとして参加し、講師である富士元 寿彦氏（幌延町生涯学習アドバイザー）からガイド方法を、日本野鳥の会（道北支部）の方からは野鳥のことなどについて多くのことを学ばせていただきました。

下沼地区の牧草地とパンケ沼園地の2ヶ所を観察し、この日見ることができたのはタンチョウの親子、オオヒシクイ、ヒシクイ、カリガネ、マガン、ハクガン、ダイサギ、カムリカイツブリ、



スズガモの9種類！（もっと居たかもしれません）参加者である子どもたちは双眼鏡で野鳥を観察し、講師の富士元氏や野鳥の会の方に積極的に質問をしていたのが印象的でした。

ふるさと自然体験チャレンジ教室は幌延の豊かな自然を生かし、四季を通じて自然と触れ合い、さまざまな人と交流しながら地域を知り、見つめ直す機会として年間を通じて開催されていますので、参加してみたいはいかがでしょうか？

## 集落支援担当 中井正幸隊員



東京オリンピックの熱狂がだいぶ前のことに感じる今日この頃、問寒別で迎える2度目の冬がやってきました。灯油の高騰がじわじわとお財布を攻撃してきます。

今回は10月末のハロウィンのお話です。気づけば季節の催しとしてすっかり定着したハロウィンですが、市場規模ではバレンタインと同等の規模にもなっているそうです。

ここ問寒別でもハロウィンならではの光景がありました。協力隊事務所と併設する「問寒別駅前食堂ドウモンド」さんでジャンボカボチャの重量当てクイズが実施されていました。

問寒別では例年、地元の酪農家の荒さんが育てたジャンボカボチャやおもちゃかぼちゃを子どもたちに配り、ジャックオーランタン作りのワークショップが開催されます。また、保育所やお店などで飾られ短い秋を彩っています。その年一番大きく育ったかぼちゃはドウモンド店頭で展示され、重量予想投票が行われました。

昨年は畑からの搬出や展示するのも人力でどうにかかなりでしたが、今年は重機がないとびくともしない重さで、いったい何kgあるのだろうと期待が高まりました。

計測の結果、今年1番大きく育ったかぼちゃは146kgと昨年の重量の倍の大物でした。

投票いただいた中よりピタリ賞、ニアピン賞としておなじみのドウモンドたい焼きがプレゼントされました。

